

ごあいさつ

いのち 第2次ちっごの生命をつなぐ 食育推進計画の策定にあたって



近年、健康志向や食の安全安心に対する関心が高まる一方で、価値観やライフスタイルの多様化などにより食生活が大きく変化し、栄養の偏りや不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加などに加え、食を大切に作る心や優れた食文化が失われつつあるなど、食に関して様々な問題が生じています。

これらの食に関する様々な問題は、社会経済構造や市民の意識によるものであるだけに短期間に問題をすべて解決することは困難ですが、市民の皆さま一人ひとりが健康でいきいきとした市民生活を実現するために、粘り強く食育に取り組んでいくことが重要です。

本市では、平成19年3月に市民と行政の協働による「ちっごのいのち生命をつなぐ食育条例」を制定し、食を通じて健康でいきいきとした市民生活を実現させようと、食育運動がスタートしました。

さらに、平成20年3月には「第1次ちっごのいのち生命をつなぐ食育推進計画」を策定し、食に関わる関係機関や団体等と連携しながら、これまで食育に取り組んできました。このたび、第1次計画の終期を迎え、平成20年度から平成24年度までの5年間の取り組みを、「ちっごのいのち生命をつなぐ食育運動推進会議」において総括し、「第2次ちっごのいのち生命をつなぐ食育推進計画」を策定しました。この計画は、国の第2次食育推進基本計画のコンセプトである「周知から実践へ」を踏まえて、第1次計画の中身を再度議論し、ポイントを絞ったものとなっています。

今後も、市民・食に関わる関係機関・教育機関・行政が一体となって食育を推進していくことが重要です。市民の皆さまにおかれましては、市が実施する食育関連事業へのご理解と積極的な参加をお願いします。

最後に「第2次ちっごのいのち生命をつなぐ食育推進計画」を策定するにあたり、熱のこもった議論と、貴重なご意見をいただきました「ちっごのいのち生命をつなぐ食育運動推進会議」委員の皆さまに心から感謝申し上げます。

平成25年3月

筑後市長 中村 征一